

幼稚園の 子どもたち



かぞくて ちかくの こうえんに せみとりに いきました。あみにはいった せみは びーびーと おおきなこえで なきながら はねをばたばた させていました。こんどは じぶんで とりたいた。

▲うちだ りんさん (神の倉幼稚園 年中)

※図画作品の年齢は制作当時のものです。

●年間テーマ「親学ノススメ」 ●今号テーマ「子育ては 親育ち」

親学 ノススメ

親として成長できているのかな？

名古屋市教育委員会 生涯学習課

親として、成長できているのだろうかと不安になることはありませんか？子育ては、誰かからほめられることはあまりありませんし、目の前の子どもや仕事などに向き合っているときは、自身の成長を感じる余裕はなかなか生まれません。日常生活の中で、自身の成長に気付くことは、簡単なことではないようです。

それでは、どのようなときに成長を感じることができるのでしょうか。まずは、短くても構わないので心を落ち着かせる時間をつくりましょう。そして、子どもと過ごした場面や子どもに掛けた言葉などを思い出してみてください。スマートフォンやパソコンに保存してある写真や動画を見ながら、思い出すのもよいでしょう。すると、迷ったり、悩んだりしながら子育てをしていた当時の自分を思い出すとともに、それを乗り越えて成長した自分や、子どもの成長に気

付くことができるのではないのでしょうか。

「子育ては親育ち」という言葉がありますが、子どもとともに親も一人の人間として成長していくことができれば、素晴らしい親子関係を築いていけることでしょう。

教育委員会では、子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさを学ぼうというものを「親学」と名付け、展開しています。

子育てに完璧なマニュアルなどありません。どの親も迷ったり悩んだりしながらその子にあった子育てを、時には喜びや涙の中で学んでいくものです。

子どもたちの健やかな成長のために、少し立ち止まって、子育てについて振り返ってみてはいかがでしょうか。

家庭の日 図画作品



はるか にいに ばば ままで おおきなすいかをたべたよ。すいかわりもしたよ。たのしかったよ。また らいねんも やりたいな。

▲はせべ はるかさん (天道幼稚園 年中)



ばばと ままと あつくと ぼくで だいすきな でんしゃにのって はなびをみにいったよ。おおきな おとがして びっくりしたよ。はなびは おおきな おはなみたいで とってもきれいだったよ。

▲いそべ こうきさん (愛知教育大学附属幼稚園 年少)

※図画作品の年齢は制作当時のものです。

「家庭の日」 図画作品募集

「家族のふれあい」をテーマにした
図画作品を募集します。
みなさん、ふるって応募してください。

- ◆応募資格:名古屋市内の園児
- ◆作品の規格:画用紙は四つ切り(約40cm×約54cm)を使用してください。画材は、クレヨン、フェルトペン、水彩絵の具など
- ◆応募方法:作品の裏面に氏名(ふりがな)、年齢(歳児)、学年(年長・年中・年少)、郵便番号、住所、電話番号、園名及び作品の簡単な説明(平仮名70字以上80字程度まで。規定外の場合、審査対象外となります。)を記入の上、問い合わせ先まで郵送または持参してください。応募は園児一人につき一点です。
- ◆応募締切:平成29年9月11日(月)必着

- ◆作品展示:市教育委員会の依頼する審査員により「幼稚園の子どもたち」掲載作品を選びます。
- ◆また、入選作品は平成30年1月13日(土)に日本ガイシホールで開催する「ファミリーデーなごや」の会場で展示します。入選者には賞状を贈呈します。※参加賞はありません。 ※落選のお知らせはいたしませんので、ご了承ください。
- ◆その他:応募作品の著作権は、市教育委員会に帰属するものとします。作品返却希望の方は、11月～12月に問い合わせ先へご相談ください。ただし、直接受取に求められる方に限ります。郵送返却はいたしません。
- ◆問い合わせ:名古屋市教育委員会生涯学習課社会教育係(連絡先は4ページをご覧ください)

親子コミュニケーションの大切さ

愛知教育大学 教授
小川 英彦

「子育ては個育てであり、育児は育自である」と言われることがあります。子育ての担い手である親世代が自身も成長途中であるという理解を踏まえると、子育てを通してお互いに親も子どもも自分育てをしていくのだという考え方が重要になってきます。

ところで、近年の遊びをめぐるのは、テレビやスマートフォンのゲームに象徴されるように室内での一人遊びの形態が広がっています。とりわけ、幼児期や学齢期における親子コミュニケーションの欠落にもつながる重要な要因の一つと考えられます。

こうした状況の中であるからこそ、親子コミュニケーションの意義を見直し・再確認したいものです。コミュニケーションをとることで①子どもの心情、気持ちがわかる、②園や友達関係の様子がわかる、③子どもの悩みや大変さがわかる、④子どもに安心感、信頼感が生まれる、⑤会話が深まる、⑥子どもと楽しさ、うれしさを共有できる。①②③は親

側について、④は子ども側について、⑤⑥は双方についてです。これらからは子育ては決して一方通行ではなく、双方の営みであること、子どもを大切にすることは自分を大切にすることであることに気付き、子どもへのいとおしさは自分へのいとおしさとして意識され、お互いに育ち合っていることを知ることができそうです。

「早くしなさい」「さっさと着替えて」と親が一方向的に言う言葉は、会話ではありません。これは命令・小言です。そうではなく、幼児はおもしろいことをたくさん考えていますし、知恵をもっています。子どもの声を「聴く」ことから始めて、言葉を「引き出す」ことにつながりが構築されるものです。子育てはすてきな親子コミュニケーションということになりましょう。



こんなほん あんなほん

「読み聞かせで家族のふれあいを」

『コッコさんのおみせ』

片山健／さく・え
福音館書店



カレー屋さんになったコッコさん。お客が来ないので出前をすると、家族はみんな家事や遊びの手を止めて食べてくれました。幼い子の遊びにほどよく付き合う様子があたたかです。

鶴舞中央図書館からの紹介です

『ひみつのかんかん』

花山かずみ／[著]
偕成社



高齢のひいばあちゃんは遊んでくれないものと思っていた女の子。でもピー玉をきっかけに、ひいばあちゃんが宝物を見せて昔の話をしてくれます。秘密の約束をした二人は仲良しになります。

『やさいでべったん』

よしだきみまる／さく
福音館書店



お母さんが切った野菜のきれはして、子どもたちがべったんもようを作ります。お父さんが作ったサラダから大きなきれはし元気な家族が豪快にべったんします。遊びのコツものっています。

図書館のカウンターには多くの家族連れの方が訪れます。寝る前のひとときや休日の楽しみのために借りていかれたのでしょう。本がぎゅっしり詰まった大きな袋をよいしょと持ってこられるご家族も少なくありません。袋から本を取り出すと、そばにいろおさんが「これ読んだ」「これも読んだね」と1冊1冊確かめていることがあります。そのうれしそうな言い方は、読んだことを確認しているというよりも、読んでもらった喜びを思い返しているように感じられます。

いつも一緒にいる大切な人と、寄り添って絵本をのぞきこんだり同じところで笑ったり、何げない家族のふれあいの時間を豊かに彩ってくれる絵本。子どもといっしょにたっぶり楽しみたいですね。

名古屋市鶴舞中央図書館

児童担当 中村・前田・新藤・金子

TEL:052-741-9811 FAX:052-733-6337

「家庭教育相談事業」 開催のお知らせ

市立幼稚園において、お父さん・お母さんを対象に、専門家による子育て相談会を開催します。「悩みを打ち明けて心が軽くなった」、「また参加したい」といった声が多く聞かれます。ぜひお出かけください。開催日時、会場等は8月下旬以降、名古屋市公式ウェブサイトに掲載します。

家庭教育相談事業

検索

子どもの笑顔がもたらすもの

名古屋市立比良西幼稚園長
大橋 克雅

入園式翌日、A児親子は緊張した様子で登園してきました。私が門で出迎え、「おはようございます」と声を掛けると、A児は母親の陰に隠れ今にも泣き出しそうになりました。

そこで私はしゃがみこみ、A児の目線の高さになり、もう一度笑顔で「おはようございます」と声を掛け直しました。A児は少し戸惑った様子を見せました。そんなA児の様子を見て母親も心配そうに「おはようございます」とあいさつをしてくれました。

毎日、同じように笑顔で迎え、しゃがんでA児親子にあいさつする中で、「Aちゃん、おはようございます。今日は早かったね」と声を掛けるとA児はうれしそうに照れ笑い、「おはようございます」と小さな声で言うようになりました。

また、降園のときも、ハイタッチをして「さようなら」のあいさつをするようにしました。子どもたちは、ハイタッチが楽しくなり、子どもたちの方から近づいてきてハイタッチをするようになりました。A児も進んでハイタッチをしてくれるようになりました。

それもあって、5月に入ったころからA児は、朝最初に通用門に来て、あいさつを待っているようになりました。そして、自分から「おはようございます」と大きな声であいさつできるようになりました。そんなA児の成長を母親はうれしそうに見ていました。

このころから母親も他の保護者にも「おはようございます」と笑顔であいさつを交わすようになり、昨日まで休んでいたB児に「Bちゃん来て良かったね」と声を掛ける光景が見られました。

お子さんが初めて集団生活に入り、戸惑われる保護者の方もいらっしゃると思います。教師が子どもに声を掛ける中で、子どもたちがあいさつできるようになるだけでなく、保護者の方も同じように声を掛けてくださるようになりました。



共育～子どもと一緒に親も学び成長する～

希望幼稚園 保護者
久野 麻理

「子育て＝ギブ＆ギブ」が当たり前、どこかそんな意識がありました。でも実は「子育て＝ギブ＆テイク」なのだということに、ちょっとした出来事から気付くことができました。

というのむが家では兄妹でカードゲームをすると、妹が負けそうになったら泣き出すので、最後までできないことが度々でした。「ゲームは勝つ時もあれば負ける時もあるんだから、そんなことばっかりやってたらみんな楽しくないよ。」と私が言ってもなかなか伝わらずにいました。

ある日、兄妹でカードゲームをしていると、お兄ちゃんがバタバタと走ってくるので、ああ、またいつものかなと思っていたら、思いもよらない一言が。「あおちゃんがえらいんだよ、泣かずに最後までゲームやれたんだ。ね、あおちゃん。本当にえらかったね!」その後ろには誇らしげに立っている妹が見えました。「人は認められ褒められることによって自分のよさ、可能性に気づき、自信をもつことができる。その自己肯定感があるから人の思いや考えも温かく受け入れようと

する思いやりの心が育つ。」このことを子どもたちが実践して私たち親に教えてくれたのです。お兄ちゃんの言葉に参ったと感服しながら、私も「あおいは最後まで頑張ってえらかったね。ゆうきはあおいの頑張ったことをちゃんと褒めてあげられてえらいな。」と付け加えました。

今、妹はゲームに負けそうになっても泣かずに最後までやれています。「子育ては親育ち」とはよく言ったものです。子育てをしているようで、実はしっかりと親になるための教育をされているのですから。そして「与える喜びを知った、感情のコントロールができるようになった、待てるようになった、自分の限界が広がった、人に優しくなった…」とたくさんの「テイク」があることに気付かせてくれました。

子育ては本当に大変です。でもこれも親として、人として成長のチャンスだと捉え、楽しんで子育てをしていきたいと思っています。



e-ねっと*なごや

検索

「親学」に関しては、
「e-ねっと*なごや」ホームページをご覧ください。

<http://www.manabu.city.nagoya.jp/>

幼児教育講演会のお知らせ

〈親学関連講座 幼児教育講演会〉

「きみはほんとうにステキだね」 ～ティラノのやさしさ、 にゃーごのおもしろいやり～

『おまえうまそうだな』『おとうさんはウルトラマン』などの作者、宮西達也さんが、ご自身の絵本の読み聞かせとともに、幼児期の子どもへの親の関わり方についてお話しします。各区の生涯学習センターで開催される親学関連講座の紹介もあります。親として成長する楽しさについて学んでみませんか。

- 日時 9月15日(金)午前10:20～正午(午前10:00開場予定)
 - 定員 350人(事前申込不要・当日先着順)
 - 費用 無料
 - 会場 イーブルなごや3階ホール(中区大井町7-25)
地下鉄名城線「東別院」駅下車 1番出口から徒歩3分
 - 講師 絵本作家 宮西達也
- どなたでも参加できます。
※小さなお子様を連れての受講も可能ですが、保護者向けのお話であることをご了承ください。



家庭の日 図画作品

※図画作品の年齢は制作当時のものです。



うちのおにわですいかが なったよ。おかあさんが ほうちょうではんぶんきって おとうと はんぶんこして たべたよ。あまくて とってもおいしかったよ。

▲すみや さくとさん (神の倉幼稚園 年中)



なつやすみに ひろしまの おいしいちゃんとおおきな おおさんしょううおがいる すいぞくかんにあそびにいったよ。いろんなうみのいきものにあえて とてもたのしかったよ。

▲あんど うはるとさん (第二幼稚園 年少)

親子で一緒に楽しもう!

夏休み イベント情報



鶴舞公園は、名古屋市が設置した最初の公園です。サクラ、バラ、ハナショウブなど花の名所として、皆さんに親しまれています。

夏のイベントとして7月22日(土)には、「鶴舞公園納涼まつり」を開催します。

こどもビンゴ大会やサマーライブ、夜店コーナー(有料)など、親子で楽しめるイベントです。是非、暑い夏を鶴舞公園で涼みませんか。



- 日時 7月22日(土)
午後5:30～8:30
- 場所 鶴舞公園 普選記念壇周辺
- アクセス 地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅下車
4番出口 徒歩3分
JR中央本線「鶴舞」駅下車
徒歩3分

編集後記

保護者の皆様や編集委員の皆様の協力を得て、今年度の「幼稚園の子どもたち」NO.1が発行できました。ご協力ありがとうございました。

今号は、「子育ては親育ち」をテーマに取り組みました。

近年は、核家族化などによって身近な人から子育てを学ぶ機会が減少しており、子育てに悩んだり、迷ったりすることもあると思います。子育てには完璧なマニュアルなどないといわれています。今号が親として迷いながらも、子どもとともに学び合い、自らも一人の人間として成長していく楽しさや喜びを味わうことの大切さを考えるきっかけになることを願っています。また、その子どもにあった子育てを子どもと向き合っで学んでいくことで、きっとすてきな親子関係を築くことにつながっていくのではないかと思います。

さて、厳しい暑さが続く季節となります。熱中症の防止とともに、体調管理や水の事故防止に心がけ、楽しい夏休みが過ごせることを願っています。

※ご意見ご感想をおまちしています。係までお寄せください。

●担当／生涯学習課社会教育係
電子メールアドレス
a3253@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

講習会のご案内

親子
モザイク
タイム
教室

ネーム
プレートを
作るう

- 日時 8月27日(日) 午後1:30～4:00
- 定員 20組(幼児～小学生とその保護者)
- 教材費 1,000円
- 申込締切 7月20日(木)
- 申込方法
〈往復はがき〉講習会名、講習月日、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記入し、問い合わせ先まで郵送してください。
〈インターネット〉<https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>
(名古屋市電子申請サービス)へ、パソコンからアクセスして下さい。
- 問い合わせ先 名古屋市緑化センター
〒466-0064 名古屋市中区昭和区鶴舞 1丁目 1-168
TEL 052-733-8340